

## ボランティアの先生を紹介します

VOL  
20

杉浦 達也先生

先生は薬学関係の大学院で生物学を学んだ後に、別の大学院で心理学を学び、現在臨床心理士として、東京都の就学センターで発達検査や相談などの仕事に携わる一方、脳神経外科クリニックでカウンセリングや認知症検査など多忙な勤務をこなしながら、本校のボランティア活動に汗を流しています。本校ではカウンセリングから農作業まで幅広く活動しております。謙虚で意欲的な先生の子ども支援に期待がかかります。

趣味：ランニング、料理、30代男性。東京都大田区在住。

## ひまわりの動物を紹介します

名前：チャップル 8歳

種類：ケツメリクガメ

大きさ：約70cm

好物：りんご、バナナなどの果物、野菜

性格：穏やかで人が好き。ぼーっとしていることが多い。



## こんなことしてみます(活動計画)

### 「ヤギとふれあいたいな」作戦

可愛い子ヤギとふれあえるにはどうすればよいのか、「動物園に行く」、「実際にヤギを飼ってしまう」などみんなで考えてみます。目を輝かせての子も達の反応が楽しみです。

### 干し柿づくりに挑戦

どうして「シブ柿でないのだめなの?」そんな疑問を理科の学習に繋がたいと思います。

### ひまわりフィールド教室

日々ゲーム漬けの子どもに、野外活動の素晴らしさを体験させるために「ひまわりフィールド教室」を開設します。自然にふれて汗を流すことのさわやかさを子達に実感させたいと思います。

## ひまわりの現況

開校日：月・水・金・土 / 9時～14時30分

生徒数：(約)60名 / 支援者数：(約)20名

時程：9時開門(学習)、12時昼食(食後レク)、12時半(校長タイム)、1時15分(フィールドタイム)、2時半(帰りの会)(下校)

通信制：ゲームから教科学習までひまわり目線の指導

## ボランティア募集

内容：子どもの見守り、学校事務など  
条件：週一回以上勤務可能な方  
以上のような方を特に求めています。

\*ご質問・見学・ボランティアご希望の方は、渡辺(090-9201-3992)までお気軽にお問い合わせください。最新情報はホームページ <http://himawari-school.jp/> と Facebook にてアップデートしています。

ボランティアスクール  
「横浜みどりの学校ひまわり」



学校だより 2023年11月号 No.62

こんな学校があってもいいかも  
(既存の教育にとられない学校)

ひまわりは、さつきが丘小学校の元校長が開設した全員が手弁当のボランティアスクール(私塾)です。「公立学校で苦戦する子どもたちを公立学校ではできない手法で支援する」「地域の子どもは地域で育てる」「金のかからない教育」などを掲げて、11年前に開設されました。

## 私にとっての「アレ」

---- 教育の原点の回顧 ----

校長 渡辺 正彦

今年は阪神タイガースが、プロ野球のセントラルリーグで優勝しました。阪神タイガースの躍進と共に岡田監督の発言が話題になりました。優勝を目指す岡田監督ですが、選手に「優勝」を意識させず伸び伸びとプレーをさせる配慮から「優勝」を「アレ」と表現したのです。結果、阪神タイガースは見事に日本一の快挙を果たしました。

実は私にも「アレ」が存在します。私の「アレ」とは、岡田監督の「アレ」は全く異なる辛い思い出の「アレ」です。

それは今から20数年も前、私が新米校長の時でした。その年も例年通り来年の新入学児童を対象に「就学時健康診断」が実施されました。校長の私も会場に向かっていると一組の新入学児親子が前を歩いておりました。親子がやがて「個別支援学級」の前に差しかかると、母親は個別支援級の扉を指差して、おもむろに「あなたもしっかり勉強しないところに入れられてしまうのよ」とわが子を諭しておりました。後に続く親子もその発言を是認するかのようなくさで続きました。

私の「アレ」はこの場面のことであり、当時の定年間近の自分が「教育の平等と個に合った教育」という教育の原点を再認識した時でもありました。

個別支援学級への認識不足や偏見は、発達障がいの子どもへの認識不足と偏見でもあり、それは正にマイノリティーの人々への偏見や差別に繋がります。

横浜市における個別支援学級とは、子どもの個性や才能を開花させるための教育手段の方法として存在するものであり、決して一般の学級の下に位置付けられるものではありません。

神から特別な才能を与えられたとされるギフテッドの子どもの内、2E (twice-exceptional) の子どもはIQが130以上(平均は100)を有し、特定の分野においては卓越した能力を持つ一方で「過度激動」という特性を持っており創造性や感受性に過敏であるために人間関係に苦慮することもあり、それが不登校の原因にもなります。これはASDとよばれる発達障がいの子どもの多くに共通することです。

持って生まれた子どもの特性を認め、彼等の才能が社会に活用できる仕組みをつくり、彼等が伸び伸びと生きる社会を実現させることが大人の責務であります。そのために「個別支援学級」も、わが学校「横浜みどりの学校ひまわり」もその存在に胸を張りたと思います。



ひまわり農場の  
ベストシーズンです！



ひまわり農場での活動が気持ちの良いシーズンになりました。農場活動に参加する子どもたちが増えて、養鶏部会メンバー（農場担当ボランティア）も張り切っています。大根やいちごの苗を植えたり、鶏と触れ合ったり、産みだした卵の暖かさに驚いたり、リクガメのチャップルを通り出して散歩や甲羅を洗ってお世話をしたり、ひまわりならではの外活動を楽しんでいます。



甲羅を綺麗に洗っています

鶏達の散歩。自分たちで順番に小屋から出てきて、帰りも自ら小屋へ戻ります。



慣れた子は鶏を片手で抱っこしています。



いちご苗を植えました。地元の農家さんからの寄贈です。ありがとうございました！



水路へヌマエビの観察。他にもドジョウ、ザリガニ、カワニナなどがありました。



## 進路情報交換会

しらとり自治会館をお借りして進路情報交換会が開かれました。ひまわり卒業生やその親から通信制高校や留学など様々な経験談をお話してもらい、最後はグループに別れて懇談をしました。



鉄道好きな子ども達と校長で田園都市線の秘密観察スポットに行きました。間近に迫る電車で子ども達から大歓声があがりました。

## ふれあいレストラン

ひまわり版「子ども食堂」でもある「ひまわりふれあいレストラン」は神奈川フードバンク寄贈の食材を活用して子どもとボランティアが協力して調理します。この日のメニューは炊き込みご飯、豚汁、フルーツポンチです。



## トピックス

### ひまわり学園が開校しました

所属学校への再登校を目指して、より学校に近い形での学習を実施する「ひまわり学園」が11月より開校しました。授業時間や授業科目に斬新な工夫をしてスムーズな再登校を目指します。本校では「居場所（創造空間）」の他に「プレスクール」「自由学習」「オンライン学習」など様々な学習形態が用意されております。



### 子どもによる自主開校の試行を開始しました

指示待ち人間からの脱却を目標に、子ども達自身の手により学校を運営する「自主開校日」の試行が始まりました。小学生と中学生が協力して大人の手を借りずに一日を進めていく事は、生きた SST(ソーシャルスキルトレーニング) でもあります。

### 新亀小屋新設中

リクガメの「チャップル君」の成長に伴って新たなカメ小屋を営繕部ボランティアさんが建設中です。新カメ小屋は断熱使用と暖房完備のデラックスハウスになる予定です。チャップルに暖かなクリスマスをプレゼントしようと子ども達も応援しております。